

発行所  
真宗大谷派宗務所  
代表者 木越 渉  
編集/東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)  
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る  
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)

購読料 無料  
送料 1部1万円1,650円  
(1,500円+税10%)※部数により変動  
振替口座番号 01000-6-27404  
加入者名 東本願寺出版部

東本願寺公式YouTubeにて  
さまざまな行事の様子を  
公開しています。



東本願寺NEWS

検索

どうぼうしんぶん

# 同朋新聞

Dōbō Shimbun

7

Vol. 812  
July 2025



安居開講

今月の写真

安居のライブ  
配信はこちら



安居とは、古代インドにおいて雨期の3カ月間一定の場所に集まり、ともに釈尊の教えを確かめたことが起源とされ、その後日本にも伝わりました。真宗大谷派では、毎年7月下旬に全国から多くの僧侶が集まり、真宗と仏教の教えについて学ぶ学事を中心道場として開設されます。今年も7月17日(木)〜31日(木)。7月17日の開講式・初日講義、7月31日の満講式は東本願寺公式YouTubeでライブ配信を行います。ぜひご覧ください。

今月の法話 **如是我聞**

我となつてくださる仏さま

大垣教区 第9組 妙輪寺 廣瀬 惺(78)

思い出されることがあります。学生時代に先生から、『大経』(仏説無量寿経)には※五つの異なった訳があります。正依の『大経』(私たちが依っている『大経』)は、『我聞如是我聞』で始まっています。大乗経典の多くが『如是我聞』で始まっている中で、『我聞如是我聞』で始まっているのは唯一正依の『大経』だけだです」とお聞きしたことです。

無我を説く仏教にあつて『我』から始められている。そこには、『大経』を訳された三蔵法師の主張が込められているものと、その時以来、私には、ただだかれています。

『大経』は、私たちを『群生』と呼びかけて説かれている経典です。凡夫として五濁の現実を生きているゆえに業縁(さまざまに関わり)の中で罪を犯し、また翻弄されて生きるほかにない身。そのような確かな我を見出せずにいる私たちの救いを説いてくださっているのが『大経』です。

仏さまが『南無阿弥陀仏』と名号することによって、生きづらさを抱えて生きている私たちの『我』となり、一人ひとりの生涯を果たし遂げさせてくださる。

『大経』が『我』で始められているところには、そのよくな我となつてくださる仏さまを説いている経典であると示そうとする訳者の意が込められている。そのように、私はいたいのであります。

※「無量寿経」は、12回漢訳されており、その内、五つが現存している。『大阿弥陀経』、『無量清浄平等覚経』、『仏説無量寿経(大経)』、『無量寿如来会』、『大乘無量寿莊嚴経』の五つ。

## 真宗本廟

開門・閉門時間  
5:50~17:30



Pick up

精進料理の昼食 (11:30~13:30)  
大人4,000円 子ども1,000円

※要事前申込み

## しんらん交流館

開館時間  
9:00~17:00  
休館日  
毎週火曜日



Pick up

東本願寺文庫 (開室時間 9:00~16:30)  
仏教・真宗を中心にさまざまな図書をご覧いただけます。  
会員登録により貸出も行っています。  
※登録手数料100円(要身分証) ※1人10冊2週間まで

## 渉成園

開園時間  
9:00~17:00  
(受付は16:30まで)



庭園維持寄付金  
大人 700円以上  
中高生 300円以上  
小学生以下 無料

今月の見どころ

かいとうろうまゑ 回棹廊前、ガマが花穂  
かすい をつける季節です。

インフォ  
information  
真宗大谷派  
ホームページ



春の法要・全戦没者追弔法会 記念講演

武力で

戦争は

防

げるの？

気づき戦争と人権

春の法要期間中の4月2日、真宗本廟御影堂において「念仏者の平和運動―戦争の抑止とは何か―」をテーマに全戦没者追弔法会が勤まりました。法要にあたり行われた、ダニー・ネフセタイ氏の記念講演の抄録を掲載します。



ダニー・ネフセタイ (木製家具作家、元イスラエル軍兵士)

1957年イスラエル生まれ。イスラエルの高校を卒業後徴兵制によりイスラエル空軍で3年間兵役を務める。退役後アジアの旅に出て来日。1988年、埼玉県秩父に移住し家具作家となる。木工房を夫婦で営みながら、反戦や原発を断る講演を各地で行っている。

※1 ハマス…「イスラム抵抗運動」の意味で、イスラム原理主義組織の一つ。  
※2 シオニズム運動…19世紀後半から20世紀初頭にかけて、ユダヤ人の民族的・宗教的アイデンティティを再確立し、彼らの歴史的地郷であるパレスチナにユダヤ人国家を建設することを旨とした政治的・社会的運動。

生きのびた親たちのもとで

私が初めて日本に来たのは今から45年前、当時22歳でした。日本に来て、いろんなことに気づきました。それを今日は話したいと思います。

私が生まれ育ったイスラエルは、日本から約9000キロ離れていて、だいたい四国くらい大きさの土地です。その土地の中に、それぞれ数百万のユダヤ人とパレスチナ人が住んでいます。

2023年10月にハマスによる攻撃があり、イスラエルのさらに激しい攻撃が続きましたが、この問題はその時に突然始まったわけではありません。遥か昔、2000年はど前にこの土地を追われ

たユダヤ人はいつか戻つてしようと願っていました。そこで始まったのがシオニズム運動です。その一環で、私の父方の両親は1920年に、母方の両親はその4年後にイスラエルに移住しました。それ以外の親戚はほぼ皆、アウシュビッツなどで殺されました。私が今日ここに話して

けるのは、父母の両親たちが移住を決断したからです。しかし、シオニズム運動が中東のパラノスを崩したことは忘れべきではありません。「私たちがここに住むから出ていけ」と言われて喜ぶ人はいないでしょう。ユダヤ人はパレスチナ人の土地に次々と入植していますが、これは80年前に日本が中国などの諸国を侵略したことと同

じです。このような行為はイスラエル軍の武力、その土台である徴兵制に支えられています。

戦闘機は超カッコイイ？

イスラエルでは18歳になると男性は3年間、女性は2年間 徴兵されます。私は戦闘機のパイロットになるのが3歳からの夢で、喜んで入隊しました。イスラエルの親たちにして、子どもが戦闘機のパイロットになることは誇りです。複数の試験を通過したごく限られた人間しかパイロットにはなれません。私はある試験に落ちてパイロットになることができず、二度と戦闘機に触ることができないと思

います。悔しくて泣いたことを覚えています。でも、今はパイロットにならなくて幸福だったと思います。もし私がパイロットになつていたら、絶対にガザへ爆弾を落としました。現に多くの友人たちはガザに爆弾を落として、赤ちゃんでもお年寄りでも、女性でも男性でも殺しています。でも、私はパイロットにならなかつたから、そんなことをせざるにいられます。

日本に来て、いろんなことに気づきました。日本の人も、戦闘機を見て「カッコイイ」と言う人がたくさんいます。でも、要注意です。たとえば、戦闘機の目的は何か。戦闘機は確かに複雑な機械ですが、目的はモノを破壊すること、人を殺すこと、それ以外にありません。まったく

ライナへの侵攻、イスラエルのガザでの虐殺、次々と戦争があつて、戦争、戦争、戦争という雰囲気です。このように、学校で勉強する世界史の時系列は、戦争が軸になっています。この戦争の次はあの戦争といった具合で、勉強するうちに「戦争は終わらない」、「やっぱり戦争は人間の本能なんだ」と思ってしまう。教科書を見ると、いかにも数千年前からずっとみんなが戦争をしているように見えます。

でも、少し待つてください。先ほども話しましたが、戦争が本当に人間の本能ならば、なぜ皆さんは黙って座って私の話を聞いているのでしょうか。これだけの人間がいて、戦争が本能なら大喧嘩になつてい

るはずですが、戦争は、人間の本能でも何でもないのです。「どこでもいつでも戦争はあるじゃないか」と言う人もいます。確かにロシアとウクライナの戦争などがあります。しかし、その他の多くの国は現在、戦争をしていません。フランス人はカフェオレを飲み、イタリア人はピザを食べ、スペイン人はダンスしている。そういう教科書に載らない現実が一方にはあるのです。

人口で考えると、ロシアとウクライナは人類の約2%。イスラエルとパレスチナの人口を足してもそれほど変わりません。つまり、人類のほとんどは現在戦争をしていない。戦争をしていない国のほうが圧倒的に多いのです。だから、残りの98%が本気でやめるように働きかけることができます。学校は終わるのです。

学校の先生は、いつどこで戦争が始まり、そして終わったかを教えてくれますが、当時どれだけ多くの国が戦争をしな

かったかは教えてくれません。それに加えて、次の戦争を避ける方法を教わる機会も少ない。だから、「平和つておとぎ話だね」と言う次世代が生まれてくるのです。

大人の言葉に騙されないで

現在、日本はアメリカからたくさん兵器を購入して、近隣諸国の脅威に備えるなどと言っています。「準備しなきゃダメだ」とも、ちょっと待つてください。

想像力を働かせてみましょう。もし本場に近隣諸国が日本を攻撃するならば、日本の軍力強化を待つわけがありません。事実、日本は近隣諸国と80年間戦争していない。これからの80年もそうしなくてはならないです。私たちが親たちから平和を授かったように、次世代に平和を手渡さないとけません。それが大人としての責任、義務です。

私たちが歩むべき道は

人権以上に大切なものはない、と私は思います。人権とは幸せに生きる権利で、どんな人にもあります。人権を守るための選択肢は戦争ではない。だから政治家の責任は、懸命に外交して戦争の犠牲者を一人も出さないこと。話し合いをして戦争をしないことです。そして、全ての大人の責任は、近隣諸国が敵ではないと教えることです。肌の色、宗教、性別、民族、国籍を問わず、みんな同じ人間です。このことを子どもに伝えるのが一番手取り早い平和への道です。

さて、現在も戦争が続くこの世界は真つ暗でしょうか。80年前の日本ではこんな話もできず、真つ暗だったでしょう。でも、今は違います。私たちは今、分かれ道の前にいるのです。真つ暗な世界と、希望のある世界と、どちらを次世代に手渡すのか。私は責任を持って愛のある世界を次世代に手渡したいと思つています。皆さんはどうですか？

(2025年4月2日 真宗本廟御影堂)



「ここまで話すと、だからこそ抑止力が必要で、場合によっては戦争も仕方ないのでは？」と言う人もいます。ここでまた想像力を働かせてください。たとえば、どこかの学校に学生がナイフを持って行ったとしましょう。先生が「なぜナイフを学校に持ってくるのか」と学生に尋ねます。すると、「先生、大丈夫です。心配しないでください。私はこのナイフを使

戦争は人間の本能か

たとえば、肉食動物が草食動物を狩つて食べるように、人や国を敵味方で分ける考え方は人間のDNAに組み込まれているから、「戦争は人間の本能」と言う人もいます。しかし、それは違います。

日本に来て、とても驚いたことがありました。私は幼い頃からイスラエルの教育の中で、「シリア人は敵だ」と聞かされてきました。だからある公園のキッチンカーでシリア人がケバブを売っているのを見た時、本当に驚きました。しかも、その人はなごやかに話していて、私を殺そうともしない。普通の人間なんだ、と初めて気づきました。私たちは映画か何かの観過ぎで、戦争とは敵を殺すものだと思ひ込ままされています。でも、違う。敵なんていうものは存在しません。自分と

うつもりはないんです。抑止力として持つて来ただけです」と答えた時に、「ああ、抑止力のためですか。それは仕方ありませんね」とそのようなことはあり得ないでしょう。

あ、あるいは、どこかの保育園で二人の園児が喧嘩していて、保育士が「昨日も言わしたてよう。話し合いが大事だ」と仲裁したとします。すると二人が「何甘い」と言つての？ 話し合いなんかで解決できないよ。暴力じゃなきゃ」と答えた時に「ああ、そうだね。どんだん喧嘩してね」と保育士の先生は言うでしょう。絶対そんなことは言わないはずですよ。つまり、「抑止力」も「仕方ない」も、もっともらしく聞こえるけれど、実は、番車純なことを大人がわかつていないのです。

記念講演の全編を東本願寺公式YouTubeで公開しています



第77回宗議会  
第74回参議会

宗務総長演説(要旨)



2025年 宗会招集

「改革」の時機を共に  
— 慙愧心を賜りて

2025年度の宗務執行方針を審議

当派の最高議決機関である宗会(常会)が招集され、5月29日から6月7日まで宗議会が、6月5日から9日まで参議会が開かれました。今議会では、2025年度の宗務執行方針が伝えられ、2025年度予算等の財務案件、諸条例案などが審議されました。



うする普遍の大道であることを開頭された。(中略)爾来、宗門は長い歴史を通して幾多の変遷を重ねるうちには、その本義が見失われる危機を経たが、わが宗門の至純なる伝統は、教法の象徴たる宗祖聖人の真影を帰依処として教法を聞信し、教法に生きる同朋の力によって保持されてきた」とあります。

この一文に我らの宿題の趣意が込められており、宗門の現状と背景を想う中、「教団の質的転換」を期し「教法を聞信し実践する」ことを、我々に託された「宿題」と受けとめます。

はじめに

能登半島地震により今なお厳しい環境下におられる皆さまにお見舞いを申し上げます。宗門として息の長い支援を継続してまいります。

現代と宗教

国内では戦後80年。しかし、世界では戦争が続いています。

災害や戦争、悲惨な事件が続く現代。我々は加速度的に他者との関係性を喪失し、「自分さえよければ」という感覚が強まり、「我執・我愛の欲望拡大」に歯止めがかからない、如來に悲しまれている「人間のすがた」が露わになっていると感じます。

ここに本願の名号が届いている理由があります。人間の理知分別の限界が知られるということなのです。

人間は、「間柄(関係性)を生きる」のですから、宗教の根幹である「救済」も、「間柄」が救われなければ道理が成立しません。人は本心では豊

人と法

かな関係、潤いある生活を望んでいます。しかし現実には、他と衝突し、人を傷つけてしまう。これが人間の抱える根本問題、人生における最大の苦悩です。

現代社会の「苦悩」自体が、「真実の道標」を強く願ひ、求めていると受けとめています。

この現実にあつて、宗門に求められていることは、「宗教の真実性の發揮」です。それを先達が「同朋会運動」と表現してくださり、受け継いでまいりました。ここに「人のまこと」、人が人となる「真宗再興」の道標があります。その証しは南無阿彌陀仏の声(みな)です。我々一人ひとりが、声(みな)を今現に聴いています。

教語があります。浄土真宗とは、人の姿に顕われるということでしょう。宗祖親鸞聖人は、「教行信証」に「然るに、愚禿の鸞、建仁辛の酉の曆、雑行を棄てて本願に帰す」と銘記されています。それは頭で考えた決意ではなく、よきひと法然上人の念仏との値遇によって賜った、「真実の道標」でしょう。法然上人の才覚に感動したのではなく、その生き様やお姿といった「存在」に感動して本願に帰されたに違いありません。

改革の基礎・質的転換

宗門の最重要課題は、「宗務改革」「行財政改革」です。

事あらためて転ずるには、基礎・基軸が必要です。この点について、1975年に額藤宗務総長が「まず克服されねばならぬものは、いたず

我らの宿題

この表明は「宗憲改正」前のことですから、つまり、改正の直接目標なのです。その後、「分裂報恩講」や「即決和解」を経て、改正を遂げました。

宗憲前文に「宗祖親鸞聖人は、顕浄土真実教行証文類を撰述して、真実の教たる佛説無量寿経により、阿彌陀如來の本願名号を行信する願生浄土の道が、人類平等の救いを全

教団の今

昨年の「教勢調査」では、「門徒の減少、教化組織の衰退解体等、宗門の基盤の揺らぎが着実に進行しつつある」と分析され、各住職の回答からも「教えや寺院の世代間継承」、「転居門徒との関係」、「門徒・地域との関係の希薄化」等の危機感に向き合う姿が見受けられました。

危機感は可能性です。いつの時代も、生きる人々の「今」を大切に、教団を生きたものにする営為を各寺が続けてきました。

「二人の念仏者の誕生」を願ひ、創意工夫を施し続けられてきた教化事業が、同朋会運動です。1カ寺の、一人の運動の足もとが「既にしてある」のです。その歩みは、未来に、今につながっています。届けられし南無阿彌陀仏あつてこそその私、念仏の僧伽を語り合う場に、「自信教人信の誠を尽くし」、「人類に捧げる教団」への、大きな可能性があります。

これこそが社会から求められている宗教法人の公益性であり、寺院を担う使命をともどもに学ぶべく、施策を進めてまいります。

そして、人が集うことで大切にされてきた「受け継ぐべき本来性」と「変えていく柔軟性」を大切に、教団を形づくってまいります。

真宗門徒として帰敬式(おかみそり)を受けましょう

## 2025年度の主な取り組み

〈宗務総長演説より〉

# 宗務改革

〈主な事項〉

### 一 『同朋新聞』のリニューアル 2026年1月

紙面を12面に拡大し、新聞の編集方針として、「毎月の暮らしに、心に、必要な新聞」と言われる未来を創るために、その普遍的使命・役割として「あなたの暮らしに確かな真宗をお届けし、あなたが仏に、あなたがあなたに、であう新聞」をつくります。

紙面については、宗派の情報をはじめ、法事や納骨といった仏事の意義をお伝えする「情報性」。教育や福祉など、宗派が社会に貢献している活動をお伝えする「社会性」。社会の出来事や価値観を、真宗の視点から問い、同朋の会などで読者間の対話を深める「対話性」。天上天下唯我独尊の言葉が示すように、あなたはあながまま尊い存在であることをお伝えする「尊厳性」。時代や国、世代などを越えた言葉とのあいを生活にお届けする「超越性」をもって構築します。

また、インターネットも活用しつつ、仏教の教えをはじめ、東本願寺の価値や魅力がこれまで以上に伝わるように取り組みます。



### 二 「大谷祖廟の総合整備」等

亡き方を縁として仏法を相続していく場づくりを進めるため、委員会を設置して複数年にわたる総計画を立て、整備に着手します。

また、東本願寺真宗会館(東京)と沖縄別院の納骨施設の整備を進めていく予定です。



大谷祖廟



沖縄別院



真宗会館

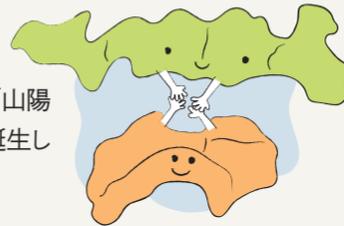
### 三 「災害時特別教化交付金」の制定

災害による緊急時において、一日でも早い教化の現場・聞法場の回復を期した支援体制の確立を期し、宗派の共済・保険制度に関する審議を始めています。



### 四 教区及び組の改編

教区改編により、7月1日に「山陽四国教区」が誕生しました。



## 教化研修や教団の将来像構築に向けた取り組み

教勢調査の分析結果や行財政改革の進捗等を含め、2026年度以降の取り組みを策定します。

「人の誕生」を期した取り組みとして、「青少幼年教化推進研修」が始まっており、第5期「教化伝道研修」も始まります。

また、本廟参拝・本廟奉仕などをとおして1人でも多くの方に真宗本廟に触れていただけるよう、機会を創出していきます。



## 「是旃陀羅」問題の課題共有

「仏説観無量寿経」における是旃陀羅の課題について、その歴史や現代の時代性を踏まえつつ、法事で経典を読誦する意味と、是旃陀羅の課題を踏まえた法要のあり方を課題とする審議会を設置しました。

なお、テキスト『御同朋を生きる』を活用した教区学習会の開催や、教区・組での学びを推進する人の養成等についても、継続して取り組みます。



2025年宗会(常会)で、当局が提案した案件(宗議会32案件、参議会29案件)に加え、両議会において「非核非戦決議2025」が発議され、すべて可決されました。

#### 可決された条例(一部)

- ・宗議会議員選挙条例
- ・教区会議員選挙条例
- ・別院の再編成に関する条例
- ・大谷祖廟及び東大谷墓地に関する総合整備委員会条例
- ・地震災害に係る共済金給付額の算出に関する臨時措置条例
- ・災害対応準備金に関する特別措置条例
- ・海外開教推進資金に関する特別措置条例

#### その他可決した案件(一部)

- ・山陽教区・四国教区の教区改編に伴う山陽四国教区発足の議決を求める件
- ・真宗大谷派所有土地(石川県小松市丸の内町一丁目)処分(有償譲渡)の承諾を求める件
- ・真宗大谷派所有土地(熊本県球磨郡相良村)処分(有償譲渡)の承諾を求める件
- ・重要文化財(阿弥陀堂門・鐘楼・手水屋形)修復及び境内地の著しい模様替えの承諾を求める件
- ・審問院審事の任命について承認を求める件(宗議会のみ)

宗会(常会)について詳しくは宗派ホームページをご覧ください。



**1 相続講金 47億5,299万円**

「法義相続(お念仏の教えを次代に伝えていくこと)」と「本廟護持(開法の根本道場である真宗本廟の維持)」を願いとす宗派財政の基盤となるご懇志です。相続講金をお納めいただいた賞典(御礼)としては、「肩衣」「院号」「真宗本廟収骨」があります。



**2 同朋会員志金 2億8,000万円**

同朋会運動推進のため会員志を皆さまからお納めいただいております。

**3 懇志金 9億6,436万円**

参拝接待所で受け付けている読経等の読経志、大谷祖廟で取り扱っている納骨志、境内の賽銭箱にお納めいただくお賽銭等です。



**4 冥加金 3億8,681万円**

奉仕団として同朋会館に宿泊する際や、研修会に参加するためにお納めいただいております。その他、宗派所有不動産の活用による駐車場収入や賃貸収入等があります。



**5 賦課金 6億7,921万円**

真宗大谷派に所属する全ての寺院や僧侶に課せられる義務金です。

**1 真宗本廟の崇敬・護持 17億2,617万5,000円**  
内、人件費 7億1,909万円

- ・報恩講や春の法要の執行
- ・帰敬式の執行
- ・御影堂、阿弥陀堂の蠟燭、仏花などのお給仕
- ・真宗本廟での法話
- ・真宗本廟の警備、防災
- ・建物の修繕、光熱水費 他



**2 本山で実施される教化施策や研修、学事振興、社会活動 13億7,404万7,000円**  
内、人件費 7億4,317万円

- 中央推進費 — 人件費 1億5,656万円
  - ・同朋会館・研修道場・和敬堂の運営 他
- 真宗教化センター費 — 人件費 2億3,307万円
  - ・真宗教化センターでの教化事業や研修
  - ・真宗教化センターの警備、防災、光熱水費 他
- 学事・社会活動費 — 人件費 3億5,354万円
  - ・親鸞仏教センター(東京都)の運営
  - ・真宗大谷学園、関係学校への助成
  - ・東本願寺奨学金の給付
  - ・大谷派教師の養成
  - ・大谷専修学院の運営
  - ・社会福祉施設での教化活動推進 他



# 特集 2025年度 宗派の予算

2025年度の真宗大谷派一般会計について、**教化事業や運営経費に使われているのか、どのような収入があり、その収入がどのような目的ごとにわけて見えていきます。**

**2025年度 一般会計**  
(2025年7月1日~)

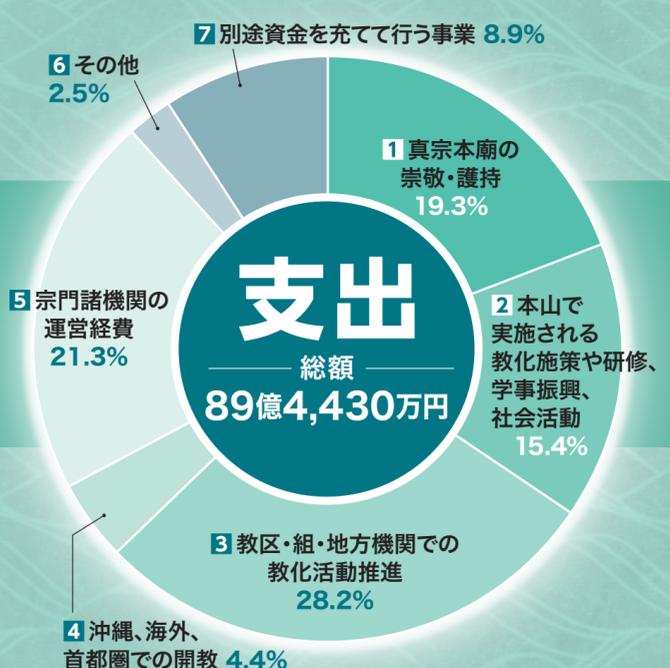
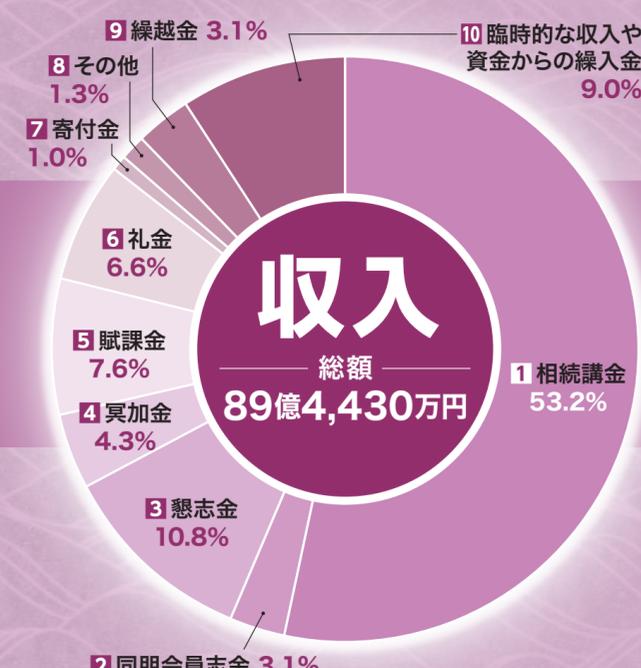
**経常部臨時部予算**  
2026年6月30日)

毎年、各寺院を通じて御門徒の皆さまに、真宗大谷派の運営を支えていくための必要な経費を、宗派経常費御依頼としてお願いしております。そして、皆さまにお納めいただいた懇志については、相続講金・同朋会員志金・諸懇志などの収入科目にて収受し、さまざまな宗派事業に使用させていただいております。今後ご懇念を賜りますよう、よろしくお願いたします。

## 2025年度 特別会計

寺院の災害復興支援 第2種共済特別会計	4億7,290万円
東本願寺出版 東本願寺出版特別会計	6億9,700万円
墓地運営 東大谷墓地特別会計	1億3,920万円
首都圏教化 首都圏教化推進特別会計	2億4,380万円

※特別会計とは、一般会計とは区別して、特定の事業にかかる収入・支出について経理する会計の総称です。



**6 礼金 5億8,766万円**

御本尊の授与や帰敬式(おかみそり)の受式、住職の任命等の申請の際にお納めいただいております。



**7 寄付金 9,200万円**

渉成園の維持・保全のため、参観者にお納めいただいている協力寄付金、御影堂門楼上見学等の際に見学者にお納めいただく寄付金です。



**8 その他 1億1,787万8,601円**

大谷祖廟で行う仏前結婚式などの施設使用料、寺院を対象とした記念品の収入、利息収入などがあります。



**9 繰越金 2億7,944万9,724円**

2023年度決算剰余金の半額を繰越金として繰り入れています。また、2025年度予算では、「繰越金収入同額は将来の支出に備える資金として積み立てる」方針のもと、真宗本廟諸施設営繕積立金、災害対応準備金繰入金等への資金へ積立を行いました。

**10 臨時的な収入や資金からの繰入金 8億394万1,675円**

毎年決まった事業がある経常部とは違い、その年度ごとの臨時的収入です。たとえば2025年度は、真宗本廟諸施設営繕積立金受金3億3,451万円や沖縄別院整備資金受金1億3,238万1,675円などの収入があります。

**3 教区・組・地方機関での教化活動推進 25億2,198万円**  
内、人件費 11億8,057万円

- ・教区教化活動推進のための交付金・助成金
- ・同朋の会の活動促進
- ・教区の事務を取り扱う教務所の運営 他

**4 沖縄、海外、首都圏での開教 3億9,640万円**  
内、人件費 1億1,736万円

- ・沖縄別院での開教活動
- ・南米・北米・ハワイ開教区での海外開教活動
- ・首都圏教化推進特別会計回付金 他



**5 宗門諸機関の運営経費 19億860万6,325円**  
(教区・首都圏除く)内、人件費 7億3,991万円

- ・御本尊の授与
- ・宗派の最高議決機関である宗会の運営
- ・宗派の事務を取り扱う宗務所の運営
- ・災害への対応 他



**6 その他 2億2,000万円**

**7 別途資金を充てて行う事業 7億9,709万1,675円**

※人件費合計 35億10万円  
ただし、退職慰労金1億8,000万円除く



ロサンゼルス別院の本堂にて合唱の様子

アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス市にある北米開教区ロサンゼルス別院では、毎週日曜日の午前10時からサンデーサービス(日曜礼拝)が開かれており、多くのご門徒が参拝される。

# いまを生きる

第259回

今号は海外特別編。ご門徒の方々や各地で開かれている同朋の会を紹介します。



伊藤智子さん

## 歌をとおして 育まれる仏縁

北米開教区  
ロサンゼルス別院門徒

伊藤 智子さん(88歳)

サンデーサービスは、お勤めがあり、合唱、そして英語と日本語による法話がある。法要の後には、軽食をとりながら団欒するのが毎週のルーティンだ。合唱は、ロサンゼルス別院の合唱団によるもので、1966年の結成以来、集まったご門徒の心に彩を与えており、今ではサンデーサービスには欠かすことのできないプログラムの一つとなっている。そんな合唱団に、結成初期から参加され続けているのが、別院門徒の伊藤智子さんだ。彼女は1962年に日系2世だった夫とともに渡米した。その後、知人の紹介でロサンゼルス別院を知り、歌うことが好きだった智さんは、合唱

団に参加することになった。1970年頃から別院に通い始め、それ以来ほぼ毎週欠かさず日曜礼拝に参拝し、合唱の時にはその凛とした歌声を響かせている。「渡米して間もない頃、夫しか知らず英語もうまく話せず、心細かった私にとって、お寺が私の居場所でした」と智さんは当時を振り返る。「歌をとおして、心を一つにできる喜びを知ったのは、この合唱団に入ってからです」と続けられた。

## 通信員リレーレポート



ロサンゼルス別院の門徒の大半は、第二次世界大戦前に日本からアメリカへ移住された方々の子孫で、現在は3世、4世の方が多く、日本語はほとんど話されない。それゆえ、歌われる合唱曲も仏教讃歌を翻訳して英語で歌われることもある。「お経だと難しくて意味がわかりづらいですが、歌だったら短いですし、私たちにも気軽に歌える気がするんです。また、歌詞の意味を理解し、歌詞に込められた真宗の教えをともにわかり合えることは、合唱をする魅力です」と智さんは話される。日曜日の朝、西洋式の長椅子が並んだロサンゼルス別院の本堂には、真宗の教えの歌が響いている。

北米開教監督部



## お寺の掲示板

第23回

お寺の掲示板に込められたさまざまな願いを、今月の言葉と一緒に毎月お届けします。



浄光坊(三重教区 四日市組)  
三重県四日市市東坂部町478  
住職 五辻元

「決めつけ」と  
「思い込み」が  
発見と出遇いを  
妨げている

自分の経験や知識といった私の思い込みの中でさまざまなことを決めつけ、人や物事と出遇えないまま、そこにある思いや背景を発見できなくなる場合があります。これは開法することによって知らされる私のあり方です。「決めつけ」と「思い込み」を破って発見と出遇いを開くのが仏教なのでしょう。

浄光坊は境内一面に広がる美しい苔庭が印象的なお寺であり、報恩講の際には、ご門徒の作品を展示するなど、多くの方に親しまれている。掲示板は道路に面しており、道行く方も足を止め、法語に触れている。掲示板による伝道は、前任職夫妻が長年続けられてきた。

現任職が引き継いだ当初は、『雑草の輝き』(高松信英著)を輪読する『歎異抄』に学ぶ同朋会に合わせた言葉を掲示していた。やがて、多くの人に見ていただくため、教えや経典からの言葉に限定せず、教えを請うた先生方の言葉やヒット曲の一節、自身の思ったことなど幅広く掲示するように。ご門徒が言葉を紹介してくれたこともある。

ご門徒の要望で、法語の掲示を月に1回から2回に増やしたほか、「言葉の意味が知りたい」という声を受けて、選んだ理由や自分の受けとめを法語の横に載せている。読む方の感じ方や、言葉の受けとめ方が狭くならないように注意を払っているという。五辻住職は、「内容を考えることは自身の学びになっています。良い言葉を知った、だけで終わらないように、紹介した言葉について同朋の会で取り上げ、深めていきたいですね」と語られた。

三重教区通信員  
山田潤貴

## 東本願寺 門徒勤行

CD 2,970円(税込 / CDサイズ経本付)  
カセットテープ 2,530円(税込 / お経カード付)

読誦: 東本願寺御堂衆 【収録】正信偈草四句目下 / 仏説阿彌陀經ほか

\*\*\*\*\*  
【仏教講座】  
恵信尼さまの手紙を読む  
【講話】寺川幽芳 CD2枚組 2,750円(税込)

聖人の妻のお手紙から知る信心と母の想い。  
① 初めて娘に語る、聖人の思い出  
② 俱に会う世界へ～老いを生きる～

【講演】鈴木大拙 CD6枚組 ★解説書(52頁)付  
16,500円(税込・送料サービス)

禪者の言葉  
大谷大学で40年間、教鞭をとられた鈴木大拙師最晩年の講演集。全311分。東洋の母なる思想、禅の考え方、念仏とは何か、キリスト教と仏教、妙好人対談 浄土信仰を巡って (with 金子大栄)

\*\*\*\*\*  
梵音 オーケストラによる仏教讃歌  
BGMに最適! CD 2,970円(税込)

恩徳讃 / 真宗宗歌 / 聖夜  
若人の歌 / 法の深山 / 衆会  
礼讃「無量寿」 / タベの歌  
恩徳讃 (沢康雄作曲)

朝の歌 / みほとけは /  
しんらんさま / 恩徳讃 (清水脩作曲) /  
礼讃歌 / アソカの園 / み仏にいだかれて

京都市下京区七条通大宮西入  
市原栄光堂  
TEL 075(371)6843 FAX 075(371)8685

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

## 永田文昌堂

### 価値のこころ

川添泰信著 定価1100円(税込)  
本願寺の新報、または小冊子や、大学における揭示伝道の標語の解説などをまとめた法話集。主な内容として、お辞儀と礼拝 / 握手と合掌 / 「借越」と「ジョーク」 / 蜘蛛の糸 / 安穩の未来 / 浄土真宗のお彼岸 / この世にて / など。

### 最新刊

鏡如上人(大谷光瑞)及び  
籌子裏方年譜  
赤松徹真編 定価15400円(税込)

本年譜は、本願寺教団の管長・宗主として多角的な視野と構想により教団を統率・運営し、内閣顧問などにも就任した鏡如上人(大谷光瑞)と、総裁として各地の仏教婦人会の結成や活動に尽力した籌子裏方の事績を編纂したもの。

### 東西本願寺120のちがひ

鎌田宗雲著 定価3300円(税込)  
主に前半は、東西本願寺の組織・寺紋・莊嚴・勤式・作法など二〇項目のちがひを紹介する。後半は、歴史的な視点も踏まえ、東西本願寺のちがひに着目し、主にお東願動に関して時系列で振り返りながら解説する。

親鸞聖人がお念仏の教えを自分のところまで届けてくださった師として、生涯大切に仰がれた方々がいます。「七高僧」と呼ばれるインドの龍樹・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の源信・源空(法然)。そして「和国の教主」と仰がれた聖徳太子です。親鸞聖人は彼らからどんな「ひかり」を受け取られたのでしょうか。善導について、3回にわたってたずねています。



# ひかりを 伝えたひと

七高僧と聖徳太子

第19回

## 善導大師



仏号むねと

修すれども

現世をいのる

行者をば

これも雑修と

なづけてぞ

千中無一と

さらわるる

〔高僧和讃〕

『真宗聖典 第二版』五九八頁

### 〔現代語訳〕

名号をとなえることが大切だと日々を過ごしてはいても、それが現世の役に立つことを期待してのものならば、これは混じり物がある実践ではないとして、千に一度も往生することはできないと、善導大師はいましておられる

### 法の深信

仏教の信とは、闇雲に信じていることではありません。教えにうなずき、安心して次の一歩を進められる心の状態が仏教の信です。善導大師は、その信を、「法」と「機」という二つの側面から取り上げています。

『仏説無量寿経』には、法蔵菩薩による「かくくしかじかな人が浄土に往生できるよるに」との誓願が列挙されています。その中には、名号を称える人が浄土に往生するよるにとの願いがあります。その願いを念仏の教えとして確かめ伝えてきたのが浄土教です。この教えをとおして、法が法蔵菩薩の誓願として私にもはたらいていることに深くうなずくようになりまます。

これが「法の深信」と呼ばれるものです。ところが、日常に追われていると、浄土往生という馴染みの薄いことは後回しになってしまいかねません。

### 現世をいのる

自らにかけられた願いに背を向けて目の前のことに振り回されるのが「現世をいのる」ということです。

そうなると、せつかく阿弥陀仏から差し向けられた念仏も、自らの欲望の道具にしてしまうこともあります。病気が治るようにと念仏をとなえるなどは、その例です。

いくら念仏をとなえたところで、それが私の欲望を実現するための道具にしてしまっているのならば、浄土に往生できる可能性は

千に一度もないと、善導大師は厳しく指摘しています。

### 機の深信

自らを救うこともできないのに、それをわかつていないのが私たちです。しかし、そんな私にも仏法がはたらいています。それがどのようなにはたらいているかを示すために、仏教では「機」という言葉を使ってきました。「法の深信」とは、阿弥陀仏の誓願がはたらいている私のありさまをありと知ることです。

日々の生活の中で「現世をいのる」ことに右往左往していると、自分の姿をありのままに自覚することができません。同じように口角を上げていても、周囲も笑顔にする柔らかい笑顔もあれば、他人を嘲る影のある顔もあります。自分の顔がどうなっているのか知るためには鏡が必要です。善導大師は、その鏡となるのは教えであると述べています。法蔵菩薩が願った世界とそれを伝える教え(法)によって、自らのありのままの姿が照らし出されます。その、法が私にはたらいていること(機)が明らかになってはじめて、ひかりが私に届いていたのだとわかります。善導大師は、法と機との関係を明確にして、信の重要性を示したのです。



わけみ あきら  
采翠 晃

大谷大学文学部  
仏教学科教授  
京都教区近江第25西組  
長光寺住職

2026年1月号より

# 『同朋新聞』が しくなります!



リニューアルに先立って、2024年12月号・2025年1月号にて『同朋新聞』に関するアンケートを行い、読者の皆さまからたくさんの貴重なご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

また、『同朋新聞』に関わるメンバーでグループワークを行い、あらためて『同朋新聞』の使命と価値を考えました。

本特集では、皆さまの声やワークから見てきたこと、目指していく『同朋新聞』のこれからをお伝えします。

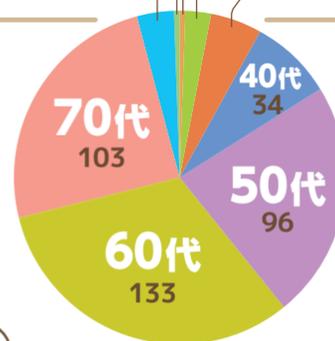
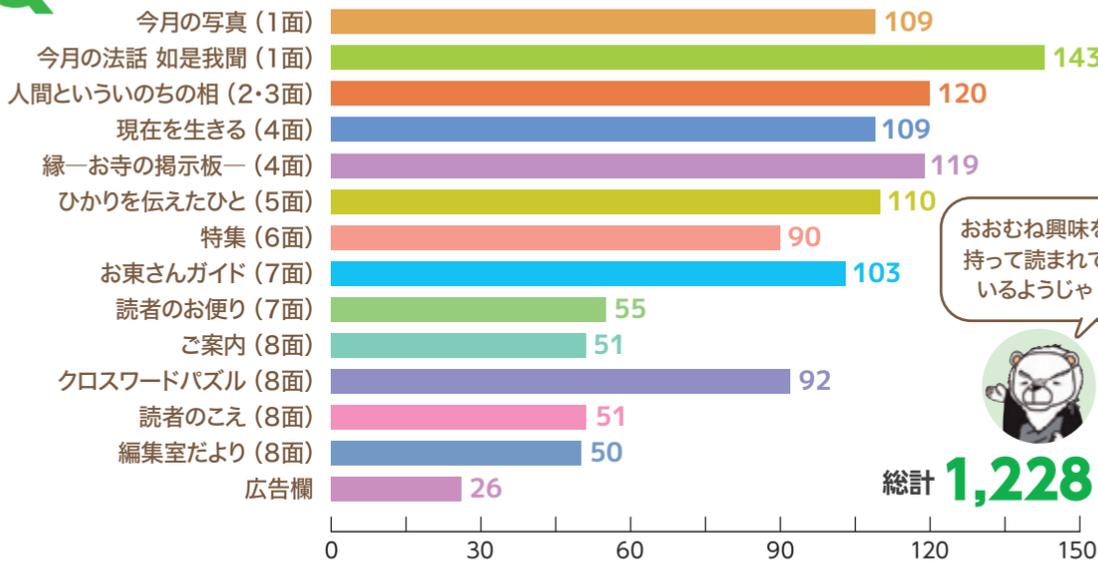
## アンケート結果

**対象者** 『同朋新聞』読者(寺族・門徒)  
**実施期間** 2024年11月下旬~2025年1月31日  
**調査方法** インターネットを用いたオンライン調査

回答数 **416人**

90代以上 2  
 80代 15  
 70代 103  
 60代 133  
 50代 96  
 40代 34  
 30代 21  
 20代 10  
 10代 2

### Q 現在の記事で興味があるのは? (複数回答可)



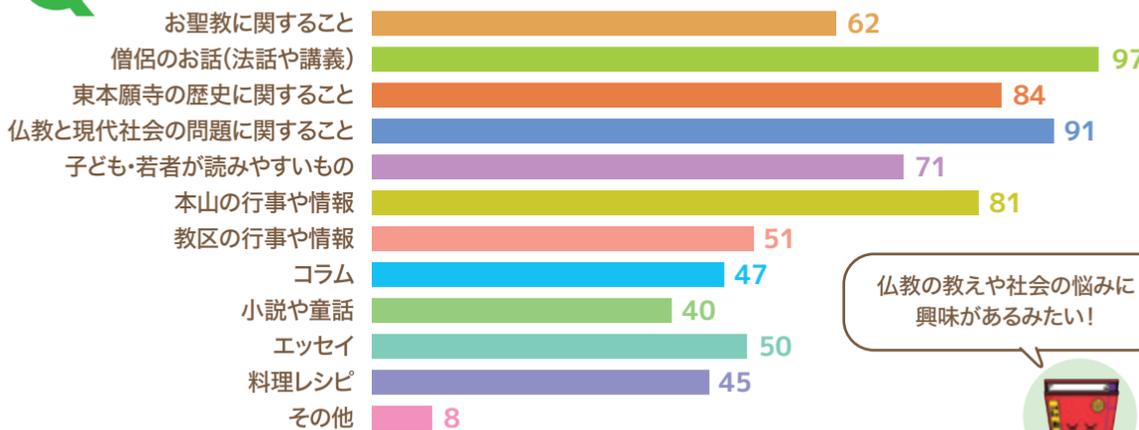
毎月のクロスワードパズルの応募でも、紙面への意見や感想を募集してるんだって!



おおむね興味を持って読まれているようじゃ



### Q これから読みたい記事は? (複数回答可)



仏教の教えや社会の悩みに興味があるみたい!



#### 自由記述の主な意見

- 文字を大きくしてほしい
- 難しい言葉で表現してほしい
- 写真を充実させてほしい
- ページを増やしてほしい

### ワークから見えたこと

**『同朋新聞』を取り巻く環境**

- 仏事の簡素化
- 仏法の世代間継承がされにくい

しょうしんげ  
→ 「正信偈」などの教え・仏事の大切さの発信が必要

**『同朋新聞』の強み**

- お寺を通じて配布される安心感があり、そのことに価値がある。
- 僧侶とご門徒の会話のきっかけに。

## 『同朋新聞』の使命

あなたの暮らしに確かな真宗をお届けし、  
 あなたが仏に、あなたがあなたに、であう新聞をつくりたい

ポイント 1

### 8面 ⇒ 12面に

既存のコーナーを活かしつつ、  
 新コーナー盛りだくさん!  
 毎月チェックしたくなるコーナーがきっと見つかる!

ポイント 2

### より読みやすい 表現・レイアウトに

易しい言葉で、文字の大きさ・  
 余白・写真の配置をさらに見やすく!



新しい体制づくりを進めています。  
 来年1月号からの『同朋新聞』をぜひ楽しみに  
 お待ちください!

# 濁浪清風

文・本多弘之

連載コラム 第1回 本願の信心 はじめに

このたび「同朋新聞」に書かせていただくこととなった本多弘之です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は1961年春に挙行された親鸞聖人の七百回御遠忌法要において、連綿と伝えられてきた真宗の教えが、現代に生きて人を生み出していることにふれさせていただいた者です。それ以来、60年以上にわたって教法を聞信することができたことを、この機会に感謝しつつその内実を述べさせていただきます。

親鸞聖人がこの現世に生まれ出られたのは1173年で、亡くなられたのは1262年であったとされています。その90年の生涯を尽くして、仏道の成就が一切衆生の上に成立することを示してくださいました。まずは自己自身をおとし、さらに自分を取り巻いている苦悩の衆生(御同朋)にも語りかけることにより、浄土真宗の教えをお示しくくださったのです。

その親鸞の教えの核心は、この濁世を煩惱とともに生きていく衆生において、そのさまざま苦悩の諸相のあり方を超越して、生きるこの喜びを呼び起こす本願の力を徹底的に言葉にされたことにあると思います。しかもその本願が起る源泉とその流れの伝統、すなわち本願が成就する証しは、生きていく聞法者の事実として受けとめるべきことを、教えていただいたのです。

その七百回御遠忌の記念行事として、新築のなった京都府の会場において、大講演会が開催されました。講師は金子大榮・曾我量深・鈴木大拙という、三大巨頭でした。80歳から90歳の高齢にもかかわらず各1時間ずつの講演をなさり、千人余の聴衆に深い感動を与えたのです。

その年(1961年)の春から、たまたま安田理深先生が大谷大学の講師に招かれ、曾我量深先生が毎週の講義にお出ましくくださることとなり、初心者であった私にもその熱意は伝わったのです。いうまでもありませんが、内容はまったく了解できず、こんな訳のわからない言葉に情熱をかける仏法の魅力とは何であろうかと思わされたことでした。

この難解極まりない仏教用語の森に対して、不思議にも私ごととき愚か者がどうにかその意味に深い真実があり、漢籍の用語を理解するための糸口を与えてくれたのは、同年配だった朋友たちの助けだったと思います。安田先生を師と仰ぐ同志が、毎月集う小さな会が開催されていて、その会が相応学舎と名付けられました。その会座に寄せていただいたのです。

## 第352回「蓮如上人御影道中」開催

一御下向約200キロ・御上洛約220キロを歩む御仏事

毎年4月23日から5月2日までの10日間、吉崎別院において勤まる蓮如上人御遠忌法要に合わせ、真宗本廟と吉崎別院の間を蓮如上人の御影のお供として歩く「蓮如上人御影道中」が本年も開催された。今年の部分参加、全行程を含めた自主参加の事前申し込み者数は御下向43人(昨年24人)、御上洛29人(昨年22人)と、昨年よりも多くの方が蓮如上人のお供に加わった。今回も昨年に引き続き浄土真宗ドットインフォにてGPSによる御影道中のリアルタイム位置情報が提供され、飛び入り参加の方々から「一行との合流の目安となる」と好評の声が聞かれた。

御上洛の随行教導を勤めた太田浩史氏は真宗本廟において行われた御帰山式(5月9日)において「御影道中には帰依三宝が備わっており、特に御下向には法義相統、御上洛には真宗再興が願われている」と御影道中の意義を語った。



参拝接待所ギャラリー  
北側に御影道中で実際に使用される御輿車を常設展示しています

「蓮如上人御影道中」  
情報ポータルサイト



## お東さんガイド

### 第50回「京の夏の旅」特別公開

京都の文化財や伝統文化・産業などの奥深い魅力を伝え、ゆっくりと観光を楽しんでいただくためのキャンペーンとして、第50回を迎える「京の夏の旅」。東本願寺では、「御影堂門楼上」・「涉成園 燕申堂」を特別公開します。この機会にぜひ拝観ください。



御影堂門楼上 釈迦三尊像 釘隠 涉成園 燕申堂  
国の指定重要文化財の御影堂門の楼上(内部)を公開。楼上に安置されている釈迦三尊像の他、境内や京都市内の風景もご覧いただけます。

期間 7月11日(金)~9月30日(火)  
時間 10時~16時30分(16時受付終了)  
※「涉成園 燕申堂」を拝観される場合は、涉成園の拝観受付を15時45分までにお通りください。

「京の夏の旅」  
料金等詳細はこちら



### 帰敬式の肩衣を取りかえることができます

帰敬式を受式された時に受け取られた肩衣は、長くお使いいただいている間に傷んでくる場合があります。所定の簡単な手続きで新しい肩衣を受けませんか。お手次ぎの寺院、または最寄りの教務所へお問い合わせください。



取りかえ(再交付)にかかる費用  
略肩衣 3,000円  
※間法ハンドバッグも新しいものをお求めいただけます 1,000円



宗派ホームページ「帰敬式」  
もご覧ください

帰敬式を受式された方の声を紹介しています



### お知らせ

#### 逝去のお知らせ

村松勝藏参議会議員、新潟教区高田11組鞍馬寺門徒。2025年5月1日逝去。83歳。2018年から3期にわたり参議会議員を務められた。

#### 新潟教区参議会議員補欠選挙

村松勝藏参議会議員の逝去に伴う補欠選挙の結果、小林強氏(新潟教区第2組善正寺門徒)が当選。

### 読者のお便り

#### 東本願寺とおじゃれの水

岐阜県在住 男性(59歳)

私が教員として働いていた岐阜県揖斐郡春日には、「おじゃれの水」と呼ばれる湧き水があり、地域のほとんどのの方が毎日その水を汲んで飲んでいました。3年前の11月、修学旅行で京都を訪れました。その際に、東本願寺に「おじゃれの水」が「東本願寺の水」として売られていること、そしてそれが教如上人ゆかりのものであると聞き、児童たちと一緒に東本願寺に伺いました。実際に境内で販売されているのを見て、東本願寺と春日がこのようなかたちでつながっているご縁がとてうれしかったです。子どもたちも「春日のお水だ!」と声をあげて喜んでいました。月参りの際にはいつも『同朋新聞』をいただいていたのですが、それまではあまり目をとおしていませんでした。修学旅行での参拝を機にしっかり読ませていただくようになり、4月号は「お東さんガイド」にあった御影道中などにとても興味を持ちました。今後は、いろいろな行事に参加したいです。

願寺に「おじゃれの水」が「東本願寺の水」として売られていること、そしてそれが教如上人ゆかりのものであると聞き、児童たちと一緒に東本願寺に伺いました。実際に境内で販売されているのを見て、東本願寺と春日がこのようなかたちでつながっているご縁がとてうれしかったです。子どもたちも「春日のお水だ!」と声をあげて喜んでいました。月参りの際にはいつも『同朋新聞』をいただいていたのですが、それまではあまり目をとおしていませんでした。修学旅行での参拝を機にしっかり読ませていただくようになり、4月号は「お東さんガイド」にあった御影道中などにとても興味を持ちました。今後は、いろいろな行事に参加したいです。

願寺に「おじゃれの水」が「東本願寺の水」として売られていること、そしてそれが教如上人ゆかりのものであると聞き、児童たちと一緒に東本願寺に伺いました。実際に境内で販売されているのを見て、東本願寺と春日がこのようなかたちでつながっているご縁がとてうれしかったです。子どもたちも「春日のお水だ!」と声をあげて喜んでいました。月参りの際にはいつも『同朋新聞』をいただいていたのですが、それまではあまり目をとおしていませんでした。修学旅行での参拝を機にしっかり読ませていただくようになり、4月号は「お東さんガイド」にあった御影道中などにとても興味を持ちました。今後は、いろいろな行事に参加したいです。

願寺に「おじゃれの水」が「東本願寺の水」として売られていること、そしてそれが教如上人ゆかりのものであると聞き、児童たちと一緒に東本願寺に伺いました。実際に境内で販売されているのを見て、東本願寺と春日がこのようなかたちでつながっているご縁がとてうれしかったです。子どもたちも「春日のお水だ!」と声をあげて喜んでいました。月参りの際にはいつも『同朋新聞』をいただいていたのですが、それまではあまり目をとおしていませんでした。修学旅行での参拝を機にしっかり読ませていただくようになり、4月号は「お東さんガイド」にあった御影道中などにとても興味を持ちました。今後は、いろいろな行事に参加したいです。

お便り募集 『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。

宛先 Eメール/shuppan@higashihongani.or.jp FAX/075-371-9211 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版『同朋新聞編集係』

住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただく場合があります。

仏教がみちびく、あらたな人生

### 特集 現代短歌

あなたを軽やかにひっくり返す31音

### 月刊『同朋』7月号

A4判・オールカラー 60頁  
定価:440円(税込・送料別)  
年間購読:4,400円(税込・送料込)

ご注文・お問い合わせは 075-371-9189 075-371-9211



詳しい書籍情報は

東本願寺出版



### オープンキャンパス

7/21(月)祝・26(土) 8/2(土)・3(日)・24(日)  
ご家族での参加も大歓迎  
詳細・事前申込はこちら

「大谷大学ってどんなところ?」を知る充実のプログラム



お問い合わせ: 入学センター 〒603-8143 京都市北区小山上総町 TEL: 075-411-8114(直通)



### 東本願寺御用達 日下念珠店

〒600-8174 京都市下京区烏丸通花屋町下ル  
電話 (075)351-6325  
フリーFAX 0120-89-5255  
定休日: 日曜日

ご案内

真宗本廟

開門・閉門時間/3月~10月:5時50分~17時30分
11月~2月:6時20分~16時30分

晨朝(おあさじ) 晨朝法話
【場所】阿彌陀堂及び御影堂
【時間】毎日7時~

真宗本廟法話
【場所】視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間
【時間】通常 10時10分~/13時10分~

参拝接待所ギャラリー
【時間】9時~16時
「親鸞聖人のご生涯」(常設展)

詳しくは → 東本願寺 検索



しんらん交流館

真宗本廟(東本願寺)へご参拝の際には、ぜひお立ち寄りください。
開館時間/9時~17時
休館日/毎週火曜日

7月の定例法話

【時間】毎日14時~(毎月12日・27日は10時~)
※休館日は休会。その他、都合により休会する場合があります。
※7月27日(日)は休会です。



7月の東本願寺日曜講演

【時間】9時30分~11時
【講師】7月27日 東館 紹見氏(大谷大学教授)
※7月6・13・20日は休会。

詳しくは → 浄土真宗ドットインフォ 検索



2025年 真宗本廟奉仕に参加してみませんか

真宗本廟奉仕を機にぜひ帰敬式を受式ください

真宗本廟 おみがき奉仕団

2泊 11月9日(日)~11日(火)
1泊 11月9日(日)~10日(月)

真宗本廟報恩講を迎えるにあたって、阿彌陀堂や御影堂の仏具のおみがきを日程の中心とした奉仕団です。

【参加費】(2泊3日)18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円
(1泊2日)13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円
※上記は大人(15歳以上)の場合です。

※申込締切は各入館日の40日前です。

お申し込み・お問い合わせ 同朋会館・研修部 TEL:075-371-9185

真宗本廟報恩講奉仕団

2泊 11月20日(木)~22日(土)
11月24日(月)~26日(水)
1泊 11月20日(木)~21日(金)
11月24日(月)~25日(火)

【満館】2泊 11月27日(木)~29日(土)
【満館】1泊 11月27日(木)~28日(金)

真宗本廟報恩講の法要参拝を日程の中心とした奉仕団です。

入館中はお仲間や他団体の方々ともカフェ(無料)でほっこり

救援金を 勧募しています

宗派では、「令和6年能登半島地震」に対する救援金を勧募しています。皆さまからの温かいご支援をお願い申し上げます。

救援金口座 郵便振替口座番号 00920-3-203053

加入者名 真宗大谷派 ※通信欄に「令和6年能登半島地震」と記載ください。

救援金総額 247,392,353円 (2025年6月9日現在)

今月号の『同朋新聞』を読んで、クロスワードパズルを完成させよう!

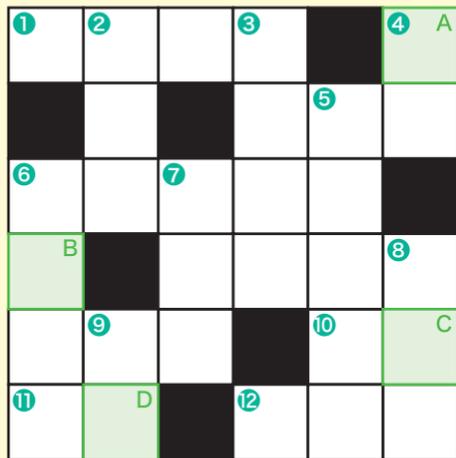
タテのカギ

- 2 月刊『同朋』7月号の特集は「現代短歌 あなたを軽やかにひっ○○○えす31音」です。(11面)
3 「現在を生きる」1966年の結成以来、集まったご門徒の心に○○○○を与えているのはロサンゼルス別院の合唱団です。(8面)
4 「読者のお便り」「おじゃれの水」は教如上人に○○りがあります。(11面)
5 真宗大谷派の最高議決機関である○○○○○が開かれました。(4面)
6 「涉成園」回○○○○前、ガマが花穂をつける季節です。(1面)
7 宗門の最重要○○○は、「宗務改革」と「行財政改革」です。(4面)
8 「ひかりを伝えたひと」「仏号むねと修すれども 現世をいのる行者をば これも雑修○○○けてぞ 千中無一ときらわるる」(9面)
9 帰敬式の記念品のか○○ぬは取りかえることができます。(11面)

ヨコのカギ

- 1 ダニー・ネフセタイさんは○○○家具作家です。(2・3面)
10 『同朋新聞』の使命はあなたの暮らしに確○○真宗をお届けし、あなたが仏に、あなたがあなたに、であう新聞をつくることです。(10面)
11 「ほ○○相続」とはお念仏の教えを次代に伝えていくことです。(6・7面)
12 「特集」『同朋新聞』のリニューアルのため、新しい体○○○りを進めています。(10面)

「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、クロスワードパズルを完成させましょう! 7月号の『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!



答え A B C D ※答えは全て「ひらがな」でお答えください。

編集室だより

◆2・3面、今回は4月に勤まった全戦没者追弔法会の記念講演抄録を掲載しています。これまでも全戦没者追弔法会の記念講演は行われておりましたが、当日のお話をより多くの皆さまに知っていただければと思い、今回の掲載に至りました。今年には戦後80年です。日本では戦争のない日々が80年続いています。世界に目を向ければこの80年の間にも戦争によって多くのいのちが失われています。私たち一人ひとり、自分の見渡せる範囲でしか行動することはできませんが、それぞれが平和を願って行動すれば、平和な世界は広がっていくのではないのでしょうか。私たちに今何ができるのか、そしてその気持ちを次の世代にどのようにつなげていけるのか、私自身も考える夏にしたいと思います。 ◆宗派では7月から新しい年度が始まります。2025年度の取り組みとして『同朋新聞』のリニューアルが挙げられています。2026年1月号のリニューアルに向けて、これまで以上に愛される紙面となるよう、さまざまに話し合いを進めています。ご期待ください。(玉井)

読者のこえ

4月号を読んで

◆先日から「縁 - お寺の掲示板 -」を切り抜いてノートに集めることにしました。今月も素敵な言葉が載せられていてうれしかったです。(福岡県80代)

◆クロスワードのおかげで中学生の従姉妹とともに新聞を楽しみ、内容について家族と話す時間もできて大変有意義な時間を過ごせました。(石川県20代)

正解者の中から抽選で3名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1,000円分」、2名様に月刊『同朋』をプレゼントします!

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、右記までご応募ください。今月号の締め切りは8月10日(日)(当日消印有効)です。

〈ご注意〉 ◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。 ◆個人情報(プレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。 ◆感想は「読者のお便り」や「読者のこえ」に掲載する場合があります。 ◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。

宛先 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版 「クロスワードパズル係」まで

メールでも応募できます!

はがきと同様に必ず左記①②③を記入し、「件名」に「同朋新聞7月号クロスワード応募」と入力の上higashihonganjishuppan@gmail.comへお送りください。

応募はコチラ



〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 Tel.075-343-0458 Fax.075-371-0458

法蔵館

https://pub.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp 新刊メール配信中! お買上16,500円(税込)以上送料無料 表示価格はすべて税込

中論講義 上・下

立川武蔵 龍樹の論法とはいかに形式論理学によるものだったのか。中論の隅一つひとつを丁寧に解説して、龍樹の論法を解明する。 各三、八五〇円

ストレスに効く仏教の話

本間大智 本間大智著 ストレスを減らす智慧が詰まったブツダの教えを21世紀にヴァージョンアップ。親しみやすい題材から丁寧に説いた法話集。 一、六五〇円

統一教会・現役二世信者たちの声

瓜生崇善 壁の向こうの言葉を聴く 解教命令という節目に、教団と世間との狭間で揺れる9人の現役二世信者が初めて明かすほんとうの声を収めた渾身の一冊。 一、九八〇円

なぜ人はカルトに惹かれるのか

瓜生崇善 脱会支援の現場から アレフ脱会支援で気づいた、正しき依存の心理。自らの体験告白とともに、脱会とは迷いながら生きる勇気を持つこととエールを送る。 一、七六〇円

森岡清美の宗教社会学

その検証と継承 大谷栄一・寺田喜朗 日本宗教社会学の開拓者 森岡清美が遺した知的遺産に、後学はいかに向き合うべきか。宗教社会学の原点を尋ねる意欲的試み。 三、五〇〇円

鎌倉仏教の中世

平雅行 中世史像を再構築する意欲作 平雅行著 一、三〇〇円

「あて字」の日本語史

田島優子 「あて字」が日本語に与えた影響とは 田島優子著 一、四〇〇円

曠野から

川田順造 人類学の領土の代表的エッセイを復刊! 柴田翔・四方田大彦解説 一、四三〇円